

農場 HACCP

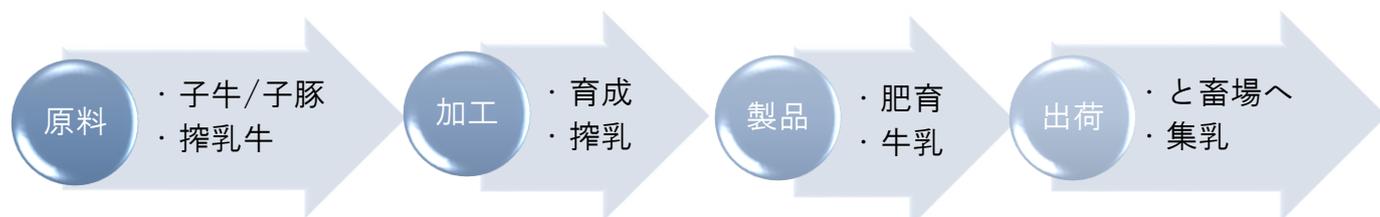
に取り組みませんか？

農場 HACCP とは

Hazard Analysis Critical Control Point の略称で、危害分析重要管理点と訳されます。畜産物を生産する工程で、発生する恐れがある病原体による汚染や、医薬品や注射針の残留等の危害を分析し、その危害を防ぐための重要管理点（ポイント）を特定して、ポイントを監視・記録することで

畜産物全体の安全性を向上させるためのシステムです。

これまでの最終製品の抜き取り検査に加え、



原料の入荷から加工・製造出荷までのすべての工程において

- (ア) あらかじめ危害を予測
- (イ) その危害を防止するための重要管理点を特定
- (ウ) そのポイントを継続的に監視・記録
- (エ) 異常が認められたらすぐに対策を取り解決

健康な家畜の出荷を通じて、

より安全な畜産物を提供するための衛生管理の手法

農場 HACCP のメリット

農場 HACCP は、製品全体の安全性を向上させるためのシステムですが、認証取得農場に対し実施したアンケートでは、次のことにメリットを感じているとのことでした。

- 1 記録することによる、問題が生じた際の原因追及
- 2 衛生管理レベルの向上と、家畜伝染病の侵入防止効果
- 3 作業の視覚化による、計画的なリスク管理
- 4 根拠に基づいた、確実な作業
- 5 教育・訓練による、従事者の衛生意識向上



出典：認証農場における農場 HACCP システムの活用状況
— アンケート結果からみた認証農場のメリットに対する意識と取り組み —

その他にも次のようなメリットがあります。

- マニュアルに基づき危害要因（動物用医薬品や注射針の残留など）を管理することによる安全・安定的な生産
- 衛生レベルの向上による死廃率の低下、治療費の軽減
- 取引先に対する衛生水準の高い農場のアピール



認証取得までの取組

「一般的衛生管理プログラム」を作成して飼養衛生レベルを向上させた上で、「HACCP計画」を策定して重大な危害要因が発生するポイントを監視します。

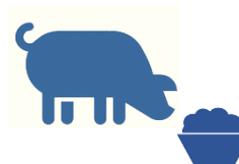
1 発生するおそれのある危害要因の分析

導入畜、飼料、飲用水、薬品等の記録や作業工程を図式化し、危害要因を明らかにします。



2 一般衛生管理プログラムの確立

消毒や給餌などの基本的な衛生管理の手順を定めます。



3 HACCP計画の作成

薬品使用等の重要な危害要因について、管理すべきポイントとその管理手段を決め、監視します。



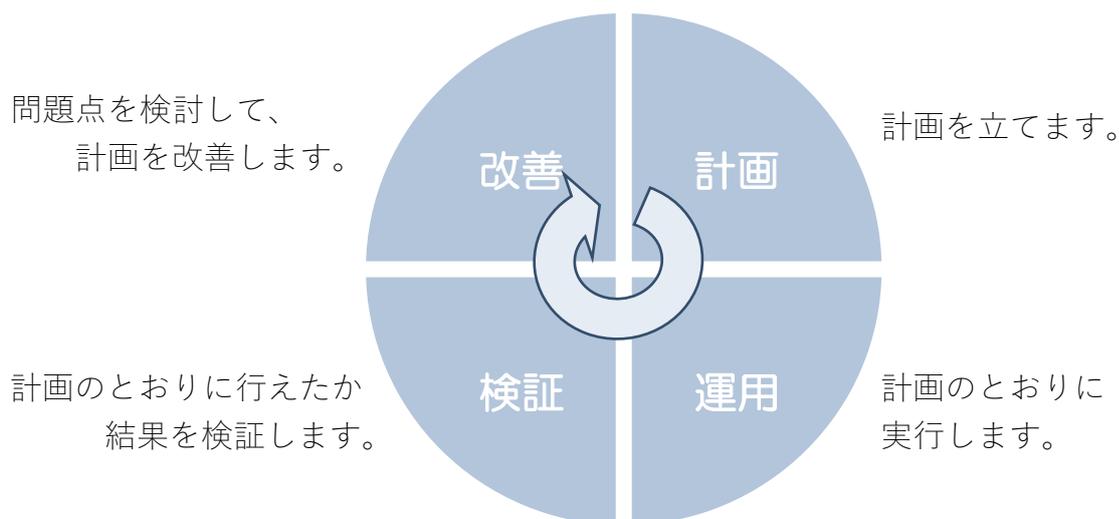
4 認証の取得

認証機関に登録された審査員による書類・実地審査が必要です。



認証取得後の取組

システムの定期的な検証・改善により、飼養衛生レベルや畜産物の安全性を継続的に向上させます。



持続的な衛生水準の向上！

